

自分の可能性を狭めないで

城南中で薬物乱用防止教室

新宮市

新宮市立城南中学校
(中田善夫校長、生徒171人)で16日、1年生45人を対象にした喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室が開かれ、なごみ薬局の薬剤師の小林仁さんが講話した。

生徒をたばこやアルコールの害から守ることが目的で、小学校の学習内容とつなげる形で毎年開催している。

小林さんは薬物について「大麻や覚醒剤だけでなく風邪薬なども薬物だ

が、使用にはルールがある」と説明。さまざまに実験映像から、たばこに含まれるニコチン、タール、一酸化炭素の摂取によって人体に起こる変化を見せた。

違法薬物では中学生の逮捕事例もあるマリファナ(大麻)を挙げ「インターネットには、あたかもマリファナは害が少なく、日本の法律が遅れているかのように書くサイトがあるが、海外には依存症で苦しんでいる人が

たくさんいる」と話した。

「たばこを吸いたい、お酒を飲みたいと思うのは自由。しかし、今君たちは成長の大切な時期にあり、栄養と酸素を体の隅々まで届ける必要がある。たばこやアルコールによってその流れを妨



小林仁さん



げ、自分の可能性を狭める行動は、今はするべきではない。身勝手に、自分自身や家族、友人を傷つける行動はしないで」と訴えた。(石田幸子)